



## 日本生態心理学会 第10回研究大会のお知らせ 第4号通信（改）

大会準備 委員長 友野 貴之（札幌学院大学）  
大会準備 副委員長 伊藤 万利子（札幌学院大学）  
森 直久（札幌学院大学）

第10回研究大会の最新情報をお知らせいたします。ご確認くださいませようお願い申し上げます。

### 1. 会期・会場

#### 1.1 会期

会期：2026年3月14日（土）9:30（開場は9:00）～15日（日）18:20まで

#### 1.2 札幌会場

札幌学院大学新札幌キャンパス 3階 304・306教室・プレゼンラウンジ

\* 304教室：招待講演・口頭発表

\* 306教室・プレゼンラウンジ：ポスター発表

〒004-8666 北海道札幌市厚別区厚別中央1条5丁目1-1

交通: JR新札幌駅から徒歩約6分、地下鉄東西線新さっぽろ駅から徒歩6分。

URL (<https://www.sgu.ac.jp/newcampus/>)

\* 大学に駐車場はございません。自家用車でいらっしゃる際は近隣の一般有料駐車場をご利用ください。

\* 札幌学院大学会場の使用教室に変更がございます。ご注意ください。

#### 1.3 東京会場

早稲田大学早稲田キャンパス 3号館 6階 602・605・606教室

\* 602教室：招待講演・口頭発表

\* 605・606教室：ポスター発表

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1

交通: 西武鉄道 西武新宿線 高田馬場駅から徒歩20分、東京メトロ 東西線 早稲田駅から徒歩5分、

東京メトロ副都心線 西早稲田駅から徒歩17分、都バス 学02（学バス）高田馬場駅 - 早大正門、

東京さくらトラム（都電 荒川線）早稲田駅から徒歩5分

URL (<https://www.waseda.jp/top/access/waseda-campus>)

## 2. 内容

### 2.1 大会準備委員企画

・招待講演1 (3月14日 17:15-18:15) [東京会場]

講演者：中田裕士 氏 (デザイナー/エンジニア)

演題「製品とともにある暮らし：人と環境のインタラクションデザイン」

#### 企画概要

デザインの分野では、ノーマンによって紹介された「アフォーダンス」が広く受け入れられてきた。しかしそれは、実際には、アフォーダンスを際立たせる記号的な手がかり (シグニファイア) を指しており、生態心理学におけるアフォーダンスとは異なる概念である。両者は、異なる前提のもとで展開されてきており、理論的な整理が十分に進んでいるとは言い難い。このような状況のなか、近年のデザイン実践では、製品単体の設計だけでなく、人々の暮らしや社会的文脈までも射程とする「広義のデザイン」へと拡張が進んでいる。このようなデザインでは、生活環境のなかでどのような行為が可能であり、選ばれていくのかといったことが視野に含まれ、生態心理学が示す「人と環境の相互作用」とも親和的である。本企画では、複数の家電メーカーにおいてデザイン開発に携わってこられたデザイナー/エンジニアの中田裕士氏をお招きし、「広義のデザイン」を含めたこれまでの実践をご講演いただく。生態心理学のアフォーダンスにもとづく人と環境のインタラクションデザインの可能性を拓くことを本講演の目的とする。

#### 講師プロフィール

中田裕士氏：デザイナー/エンジニア。専門はインタラクションデザイン、UI/UX デザイン。早稲田大学国際情報通信研究科修了後、複数の家電メーカーでデザイン業務に従事し、Red Dot Design Award、iF Design Award、グッドデザイン賞などを受賞。また、業務外でメディアアーティストとしても活動しており、主な受賞歴に Prix Ars Electronica 2004 [the next idea] Honorary Mention など。

・招待講演2 (3月15日 10:45-11:45) [札幌会場]

講演者：坂東元 氏 (旭山動物園 統括園長)

演題「動物の飼育環境と行動」

#### 企画概要

旭山動物園といえば行動展示を発案し具体化したことで、来園者の減少による廃園の危機から脱し、今では世界中から来園者が訪れる動物園になりました。そんなイメージを持たれている方が多いのではないのでしょうか。動物は環境の中で生きます。その環境の中で生きるために必要な能力や感性だけを使います。ヒトのように環境を作り変えて生きるという概念がありません。その環境は自然の中でも人為的に作られた環境の中でも同じです。飼育下の動物は安全と食べることが保証されています。何もしなくても生きられてしまいます。その動物が本来持っている能力や感性のほとんどが蓋をされている状態といっても過言ではありません。その蓋を開放しその動物らしさを発現させる、それが行動展示という環境整備の考え方です。

### 2.2 研究発表

#### (1) 形態と運営方法

招待講演: 60分

オープンフォーラム(口頭発表): 各発表 30分(発表 20分、質疑応答 10分)

シンポジウム(口頭発表): 全体 90分(内ディスカッション 30分程度)

両会場を Zoom で接続し、講演・口頭発表を行います。

ポスター発表: 事前事後公開コンテンツ、当日 60分 (オンライン 20分+対面 40分)

本大会のポスター発表は、以下の 2 つから構成されており、大会前後および大会当日に発表内容にアクセスできます。

1. 事前事後公開コンテンツ \*ポスター発表者の研究紹介動画
2. 大会当日のポスター発表 (オンライン 20分+対面 40分) \*オンラインは Zoom を使用

事前事後公開コンテンツの URL と当日のオンライン発表に参加するための ZoomURL は、大会参加登録と大会参加費の納入を終えている方にメールでご案内いたします。メールは大会参加登録時にご記入いただいたアドレスに送信いたします。

大会当日、両会場で開催者にご使用いただける Wi-Fi を準備いたします。また、両会場で eduroam もご使用いただけます。

☆本大会では、優れた発表者個人 (正会員または学生会員) に対して大会発表賞を授与します。大会発表賞の選考対象は、オープンフォーラム (口頭発表) およびポスター発表の第 1 著者のうち、発表申込みの際に、大会発表賞の選考対象になることを希望された方です。大会当日は、ご参加の皆様にご参加の皆様に大会発表賞の投票用紙を配布いたします。ぜひご投票くださいますようお願いいたします。

## 2.3. 総会

3月14日(土)の昼休み (11:25-12:55) に総会を開催いたします。この総会では、決算報告の他、重要な案件を審議する予定です。会員の皆様のご出席をお願い申し上げます。

## 2.4. 懇親会

3月14日(土)の夜、札幌会場、東京会場ともに懇親会を開催いたします。札幌会場は新札幌キャンパス食堂にて、お寿司のケータリングを予定しております。東京会場は UniCafe125 で懇親会を行います (貸切)。

## 3. 諸手続

### 3.1. 参加申し込み

参加申し込みは、下記の Google forms よりお願いします。

参加申込フォーム : <https://forms.gle/8saG3rsLRc6Zr4G68>

また、環境により、申込フォームを利用できない場合は、電子メールで下記の宛先にお問い合わせください。尚、メール確認の都合上、下記の件名をつけてくださいますようお願いいたします。

2026年3月9日

宛先：jsep2025@jsep-home.jp  
件名：JSEP 第10回大会\_参加申込

### 3.2. 諸費用の納入

予約参加者・発表者は Peatix にて諸費用を納入してください。可能な限りお早めに納入ください。現金での納入はお受けしていません。

参加費納入ページ：<https://jsep2025sgu.peatix.com/>

#### (1)大会参加費

予約参加費：正会員 4,000 円／学生会員 0 円

非会員 5,000 円／非会員（学生）3,000 円

当日参加費：正会員 4,000 円／学生会員 0 円

非会員 2,500 円（1日参加券）／非会員（学生）1,500 円（1日参加券）

連名発表費：正会員 0 円／学生会員 0 円

非会員 1000 円／非会員（学生）1000 円

#### (2) 懇親会費

懇親会は**事前予約制**であり、参加申込は締め切りました。当日参加およびキャンセルは承っておりません。

### 3.3. 宿泊:

宿泊の手配については学会では行いませんので、各自で手配されますようお願いいたします。

## 4. 大会に関する連絡先

日本生態心理学会第10回大会準備委員会が学会の企画・運営、その他にあたっております。連絡は下記までお願いいたします。

日本生態心理学会第10回大会準備委員会  
Email:jsep2025@jsep-home.jp